

# 2015年3月期 決算報告

2015/5/15

第一生命保険株式会社

一生涯のパートナー

**第一生命**

- 2015年3月期は、成長分野の好調な保険販売、第一生命の資産運用収支改善による順ざや拡大などにより、大幅な増収・増益。法人税減税に伴う一時的な減益要因等を十分に相殺し、上場来最高益を達成。グループEEVは5.7兆円に増加。
- 前中計の利益・還元目標は達成見込。連結修正純利益は1,617億円となり、1,000億円の目標を超過達成。配当予想の上方修正に加え、自己株式の取得により、前中計の総還元性向の中期的な目処としていた30%の実現を予想。
- 前中計では、国内外でのM&Aなどを通じ、グループの事業構造が大きく変化。成長加速ステージである新中計の初年度(2016年3月期)の業績は、増益基調の維持を予想。また、同期の株主配当の増額を予想。

## ■ 連結経常収益・連結経常利益・連結純利益ともに大幅増加を達成

(億円)

	14/3期	15/3期 (a)	前期比	
			増減額	増減率
連結経常収益	60,449	72,522	+12,072	+20%
第一生命単体	43,846	47,984	+4,137	+9%
連結経常利益	3,047	4,068	+1,020	+34%
第一生命単体	3,076	4,087	+1,011	+33%
連結純利益	779	1,424	+645	+83%
第一生命単体	855	1,521	+666	+78%

<参考>

2014/11/14 発表予想(b)	達成率(a/b)
	64,090
44,000	109%
3,180	128%
3,100	132%
800	178%
790	193%

## ■ 保険販売の好調と、資産運用収支の改善が業績に貢献

### 連結損益計算書(要約)<sup>(1)</sup>

(億円)

	14/3期	15/3期	増減
経常収益	60,449	72,522	+12,072
保険料等収入	43,532	54,327	+10,794
資産運用収益	13,200	14,440	+1,239
うち利息・配当金等収入	7,973	8,565	+592
うち有価証券売却益	2,104	1,621	△482
うち特別勘定資産運用益	2,623	3,697	+1,073
その他経常収益	3,716	3,755	+38
経常費用	57,402	68,454	+11,051
うち保険金等支払金	29,035	33,808	+4,772
うち責任準備金等繰入額	16,348	22,712	+6,364
うち資産運用費用	2,349	1,689	△660
うち有価証券売却損	674	242	△432
うち有価証券評価損	14	4	△9
うち金融派生商品費用	610	55	△555
うち事業費	5,175	5,593	+417
経常利益	3,047	4,068	+1,020
特別利益	36	33	△3
特別損失	673	294	△379
契約者配当準備金繰入額	940	1,122	+182
税金等調整前純利益	1,470	2,685	+1,214
法人税等合計	707	1,260	+552
少数株主利益(△は損失)	△16	0	+16
純利益	779	1,424	+645

### 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	14/3末	15/3末	増減
資産の部合計	377,051	498,372	+121,320
うち現預金・コール	10,613	12,538	+1,924
うち買入金銭債権	2,818	2,658	△160
うち有価証券	312,035	411,054	+99,018
うち貸付金	30,247	38,981	+8,734
うち有形固定資産	12,158	12,170	+11
うち繰延税金資産	57	13	△43
負債の部合計	357,575	462,472	+104,897
うち保険契約準備金	333,275	425,470	+92,194
うち責任準備金	325,749	416,347	+90,597
うち退職給付に係る負債	3,854	3,313	△541
うち価格変動準備金	1,181	1,362	+180
うち繰延税金負債	151	6,433	+6,282
純資産の部合計	19,476	35,899	+16,423
うち株主資本合計	6,285	10,296	+4,010
うちその他の包括利益累計額合計	13,184	25,594	+12,410
うちその他の有価証券評価差額金	13,227	25,282	+12,055
うち土地再評価差額金	△383	△334	+48

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の繰入れ/戻入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

# 第一生命グループ業績 - グループ各社の貸借対照表

一生涯のパートナー

第一生命

	【第一生命】 (億円)	【第一フロンティア生命】 (億円)	【豪TAL】 <sup>(1)</sup> (百万豪ドル)	【米プロテクトティブ】 <sup>(1)</sup> (百万米ドル)	【その他】 <sup>(2)</sup> (連結調整仕訳含む) (億円)	【連結】 <sup>(2)</sup> (億円)
	15年3月末	15年3月末	15年3月末	15年2月1日		15年3月末
資産の部合計	368,287	49,372	6,674	70,966	△ 9,351	498,372
うち現預金・コール	10,187	813	924	463	138	12,538
うち有価証券	306,733	47,154	3,070	53,287	△ 8,672	411,054
うち貸付金	30,292	-	3	7,333	13	38,981
うち有形固定資産	12,032	0	1	111	3	12,170
うち無形固定資産	837	5	1,235	2,712	△ 811	4,376
うち のれん	-	-	786	735	△ 800	792
うち その他の無形固定資産	221	0	446	1,959	0	2,950
うち再保険貸	79	665	116	202	△ 78	1,012
負債の部合計	332,774	48,798	4,641	65,412	△ 723	462,472
うち保険契約準備金	304,496	48,116	3,340	58,844	198	425,470
うち再保険借	6	27	335	252	△ 77	562
うち社債	2,157	-	-	2,311	-	4,890
うちその他負債	14,964	456	859	2,338	△ 330	18,647
純資産の部合計	35,513	574	2,033	5,554	△ 8,627	35,899
うち株主資本合計	11,073	184	2,033	5,554	△ 9,401	10,296
うち資本金	3,431	1,175	1,630	0	△ 2,676	3,431
うち資本剰余金	3,432	675	-	5,554	△ 7,242	3,432

(1) 豪TAL、米プロテクトティブの数値は、それぞれオーストラリア、米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。連結の際には、1豪ドル=92.06円、1米ドル=118.25円で、それぞれ円換算されております。

(2) その他および連結の数値には、本表に記載以外の連結各社に関する数値等が含まれております。

# 第一生命グループ業績 - グループ各社の業績

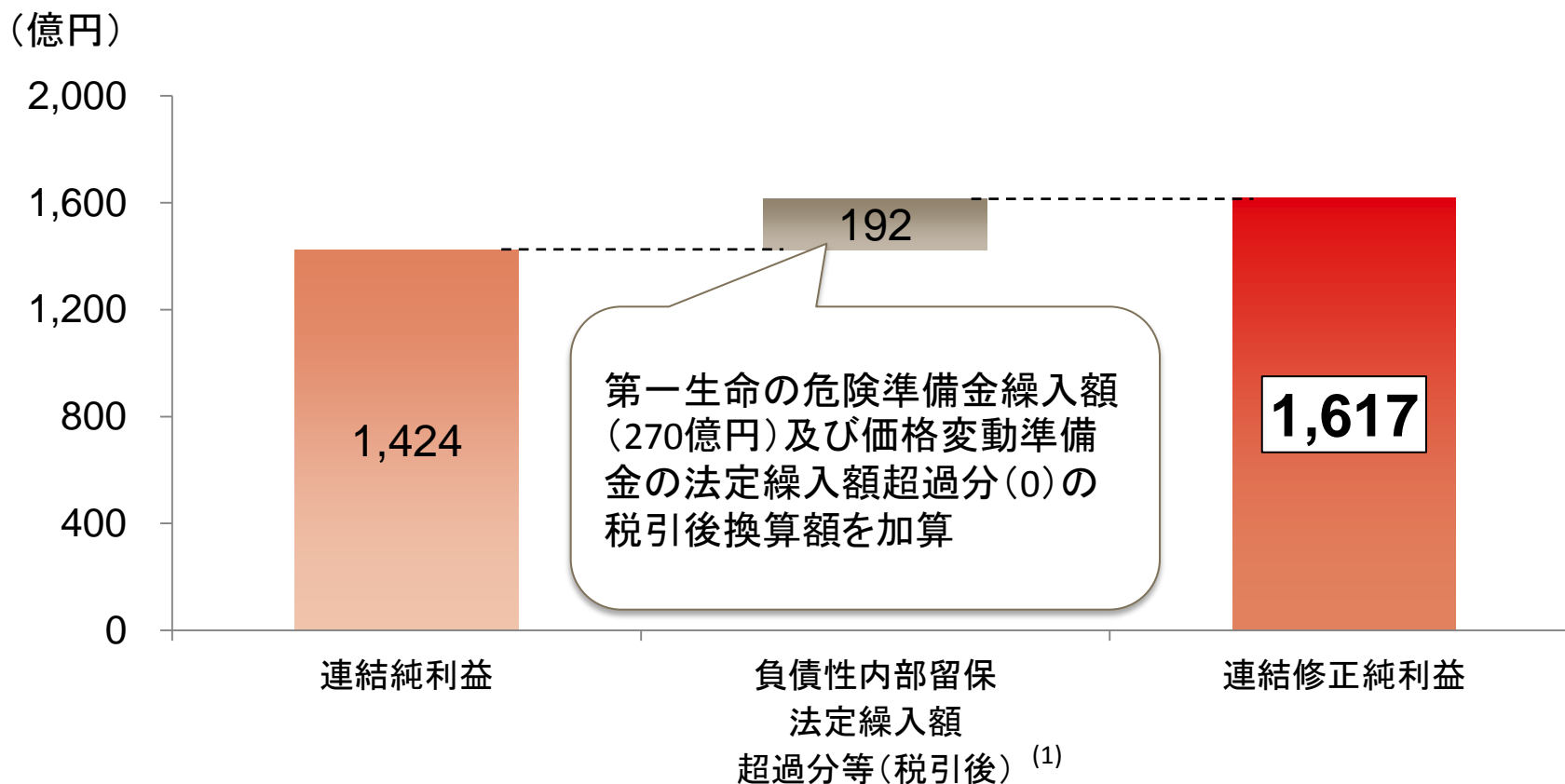
一生涯のパートナー

第一生命

	【第一生命】			【第一フロンティア生命】			【豪TAL】 <sup>(1)</sup>			【連結】		
	(億円)			(億円)			(百万豪ドル)			(億円)		
	14/3期	15/3期	前期比	14/3期	15/3期	前期比	14/3期	15/3期	前期比	14/3期	15/3期	前期比
経常収益	43,846	47,984	+9%	14,178	21,575	+52%	2,849	3,166	+11%	60,449	72,522	+20%
保険料等収入	28,680	32,663	+14%	12,660	18,997	+50%	2,316	2,745	+19%	43,532	54,327	+25%
資産運用収益	11,614	11,744	+1%	1,518	2,577	+70%	280	334	+19%	13,200	14,440	+9%
経常費用	40,770	43,897	+8%	14,337	21,773	+52%	2,710	2,982	+10%	57,402	68,454	+19%
保険金等支払金	24,391	27,181	+11%	3,238	4,962	+53%	1,564	1,808	+16%	29,035	33,808	+16%
責任準備金等繰入額	5,833	7,028	+20%	10,183	15,232	+50%	503	447	△11%	16,348	22,712	+39%
資産運用費用	2,139	1,312	△39%	358	520	+45%	32	38	+19%	2,349	1,689	△28%
事業費	4,105	3,985	△3%	507	952	+88%	519	579	+12%	5,175	5,593	+8%
経常利益(△は損失)	3,076	4,087	+33%	△ 158	△ 197	—	139	184	+32%	3,047	4,068	+34%
特別利益	36	30	△16%	—	—	—	—	—	—	36	33	△9%
特別損失	664	272	△59%	9	21	+125%	—	—	—	673	294	△56%
少数株主利益(△は損失)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△ 16	0	—
純利益(△は損失)	855	1,521	+78%	△ 169	△ 219	—	90	131	+45%	779	1,424	+83%

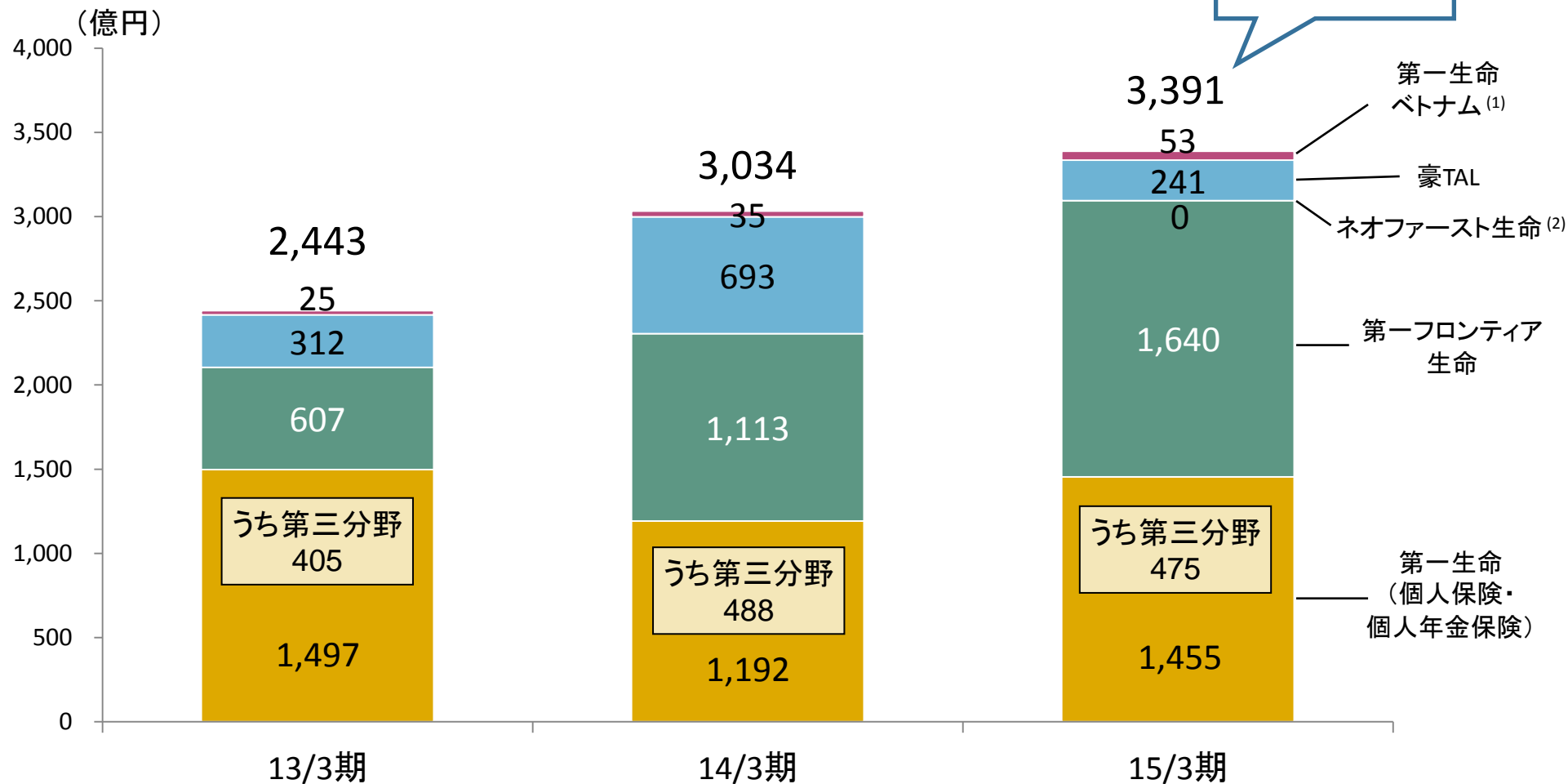
(1) 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

- 第一生命グループでは、株主に実質的に帰属する利益指標として、当期純利益を調整した「修正純利益」を設定し、中期経営計画の経営目標としている。
- 15/3期の連結修正純利益は1,617億円と、14/3期の1,125億円から大幅に増加



(1) 負債性内部留保(危険準備金、価格変動準備金)繰入額のうち、法定繰入額を超過した分を加算する(取崩しの場合はマイナスする)等。金額はすべて税後換算(実効税率28.76%を適用)。

## 第一生命グループの新契約年換算保険料

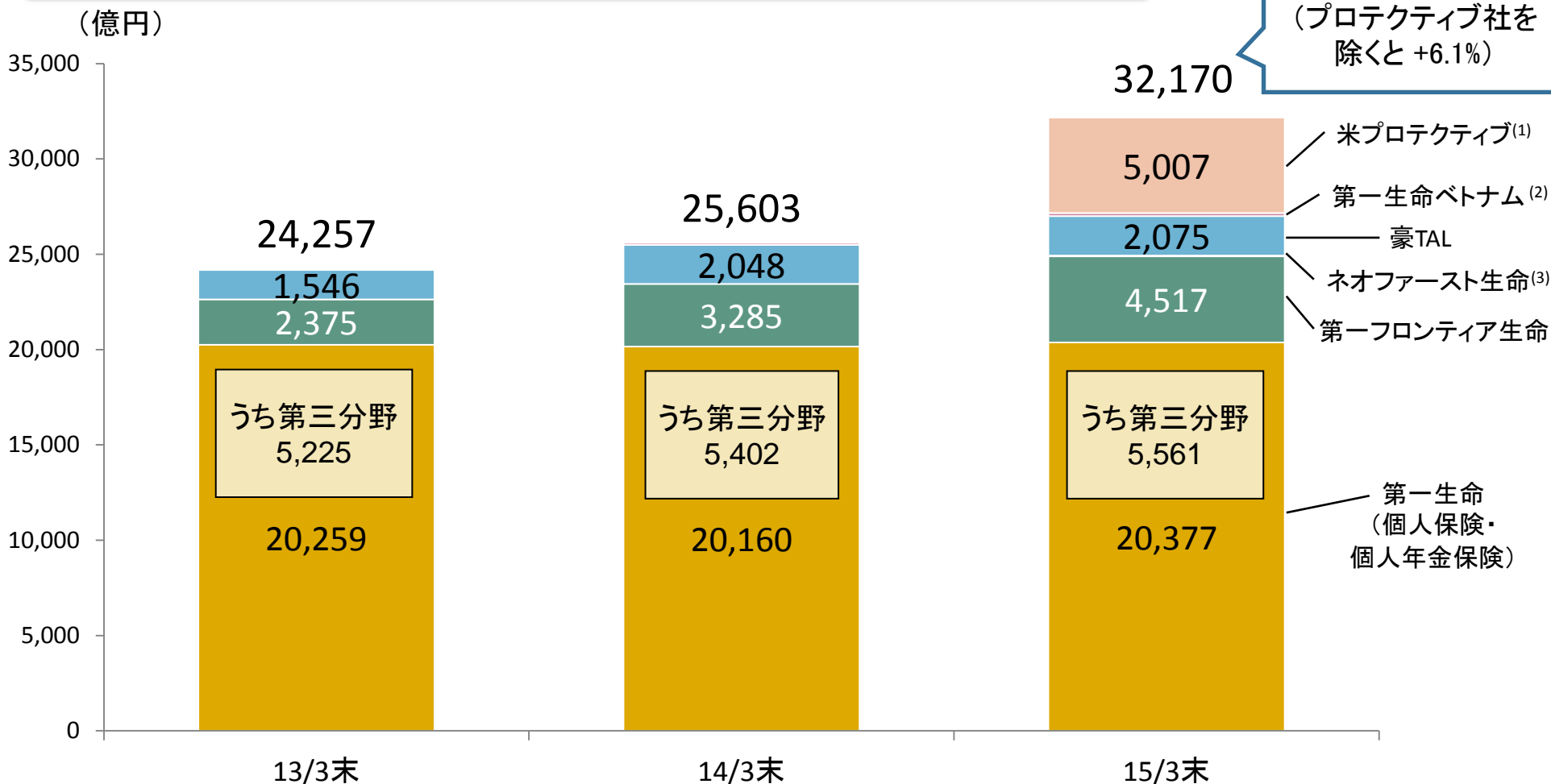


(1) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

(2) ネオファースト生命の実績は、15/3期2Q~4Q(7-3月)のみを記載しています。



## 第一生命グループの保有契約年換算保険料

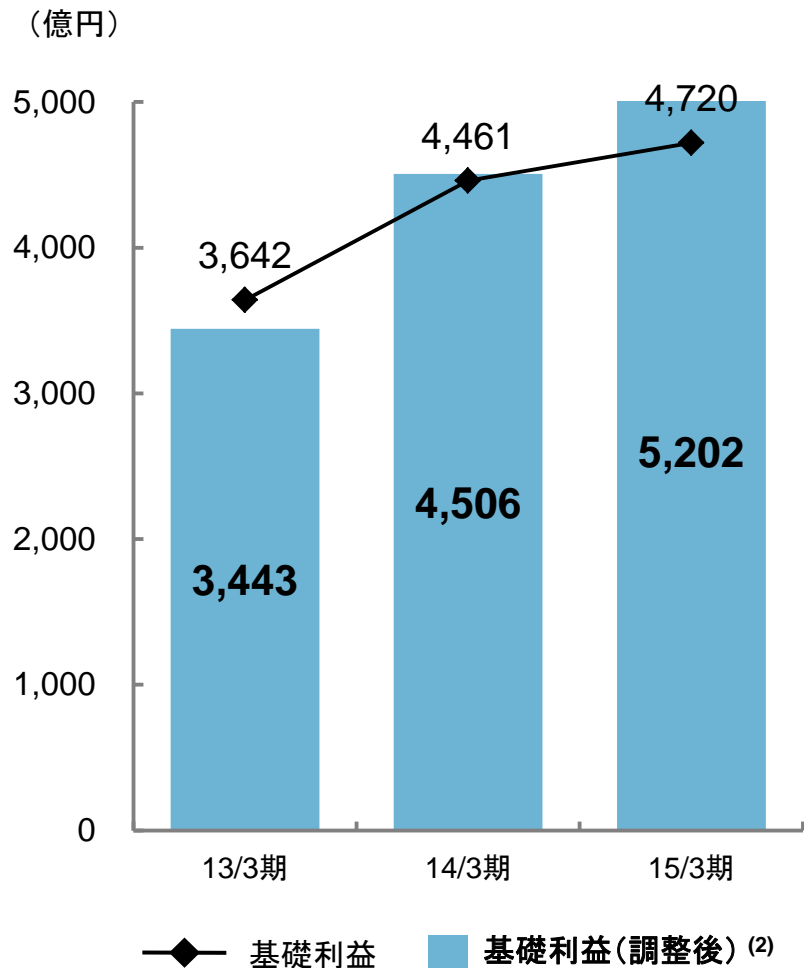


(1) 米プロテクティブの実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値に基づき、15/3末にのみ記載しています。

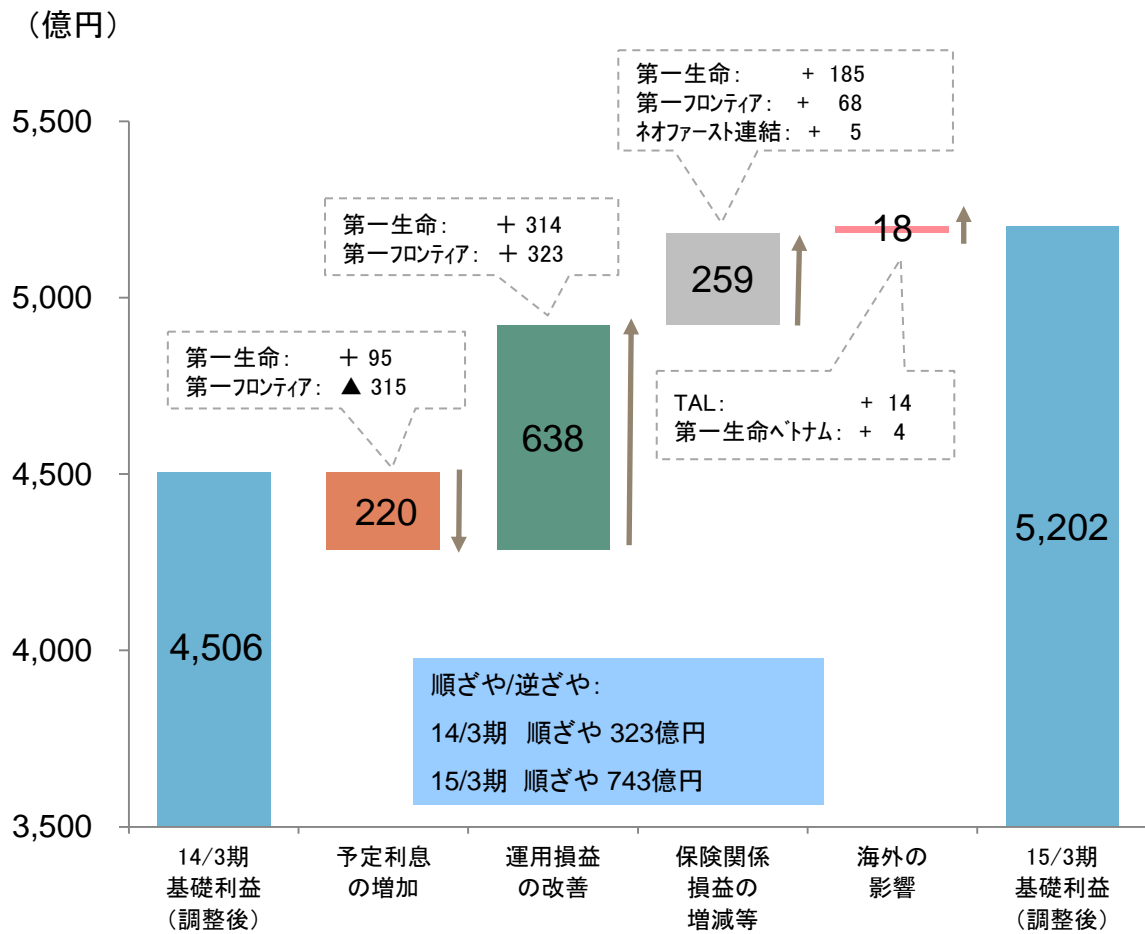
(2) 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。13/3末、14/3末、15/3末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ75億円、108億円、155億円です。

(3) 15/3末のネオファースト生命の保有契約年換算保険料は37億円(うち第三分野は8億円)です。尚、ネオファースト生命の実績は、15/3末のみを記載しています。

## 基礎利益 (1)



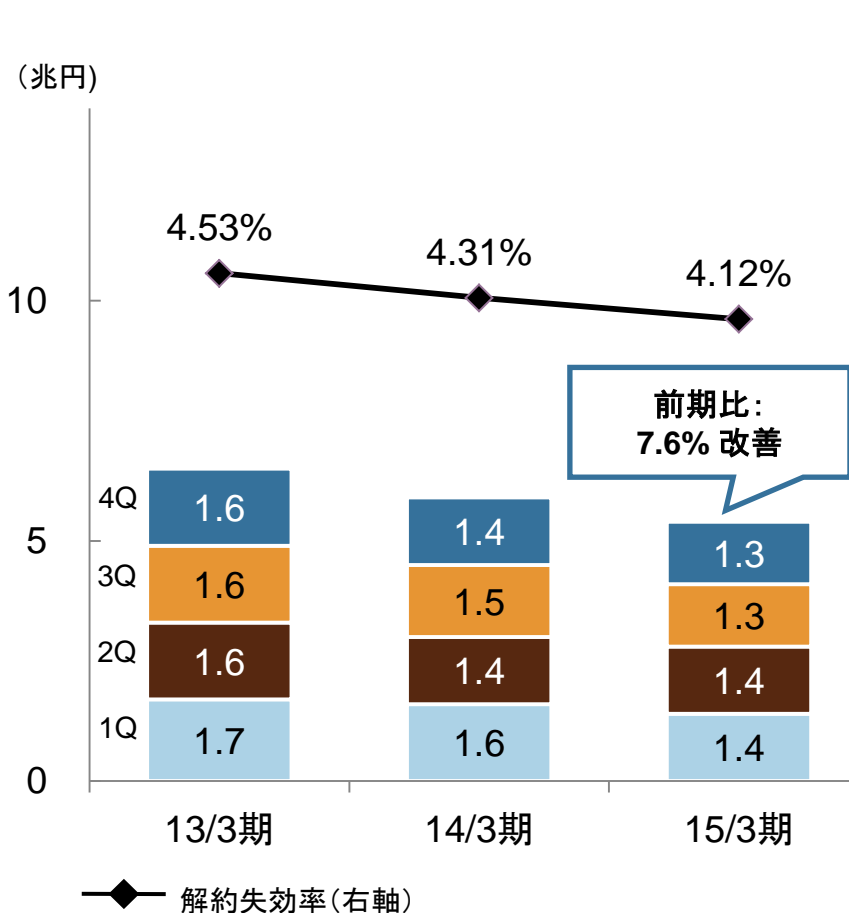
## 基礎利益(調整後)の変動要因 (1)(2)



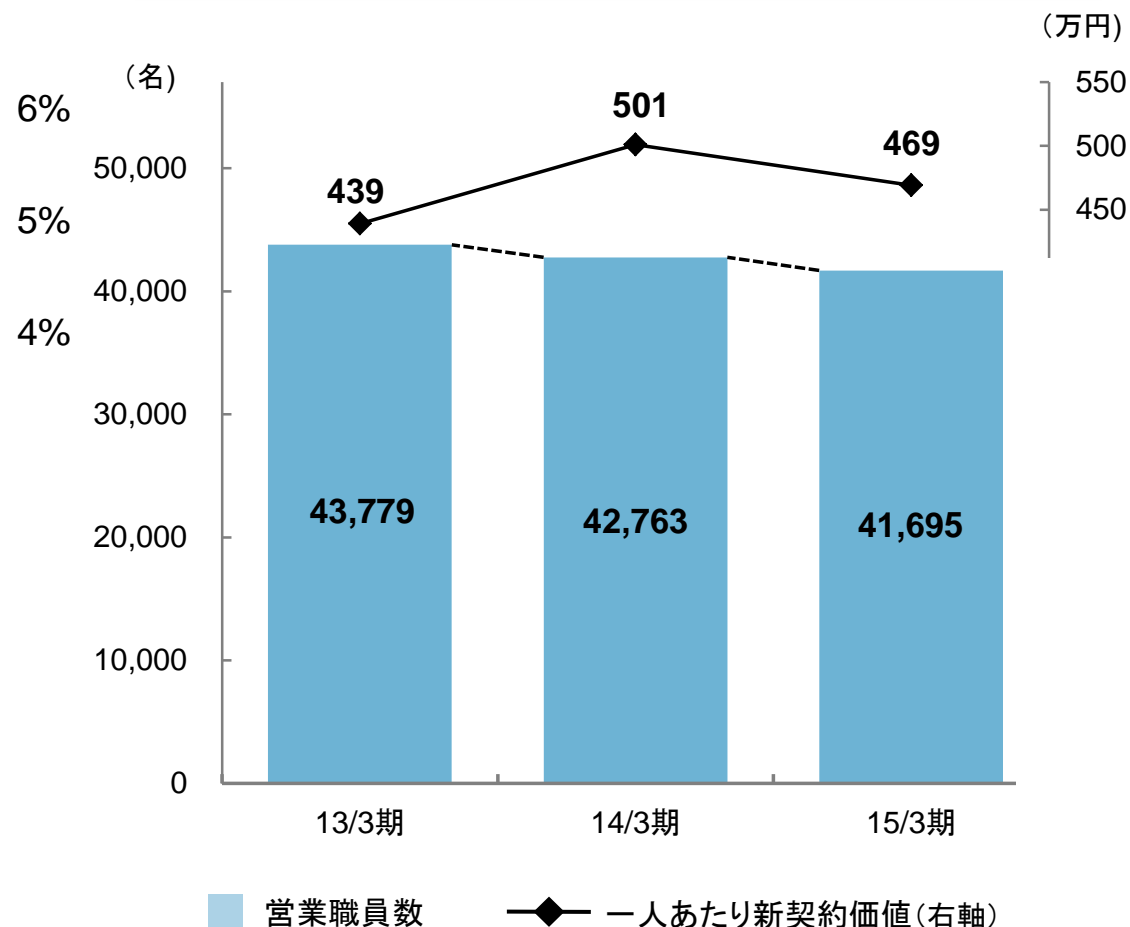
(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期のみ)の基礎利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

(2) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額

## 解約失効高(個人保険・個人年金)



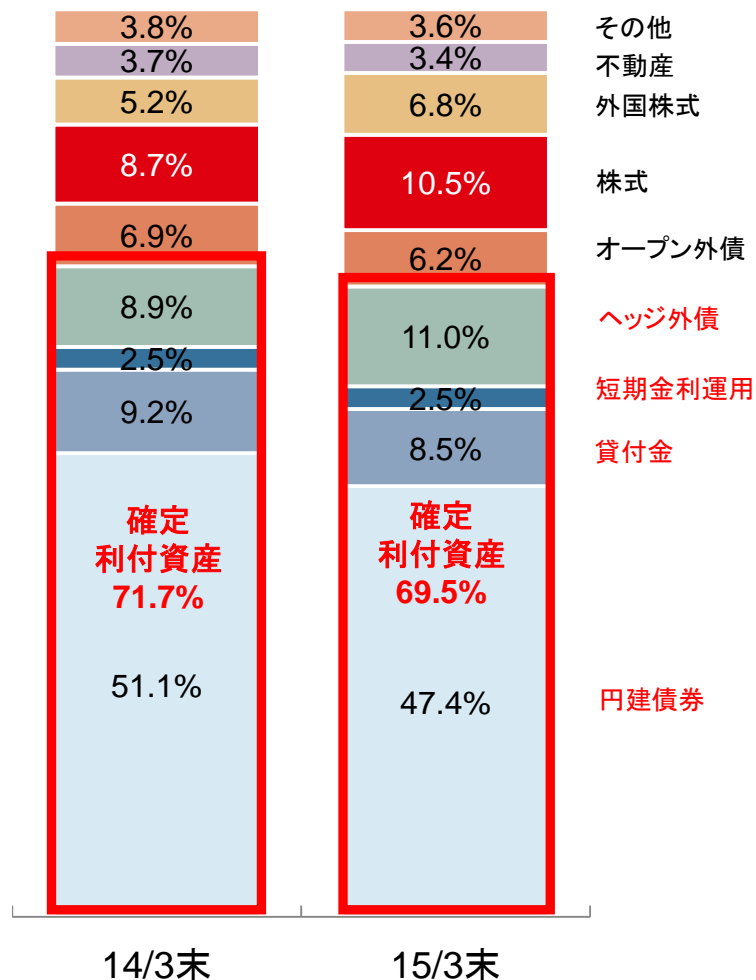
## 営業職員数および生産性 (1)(2)



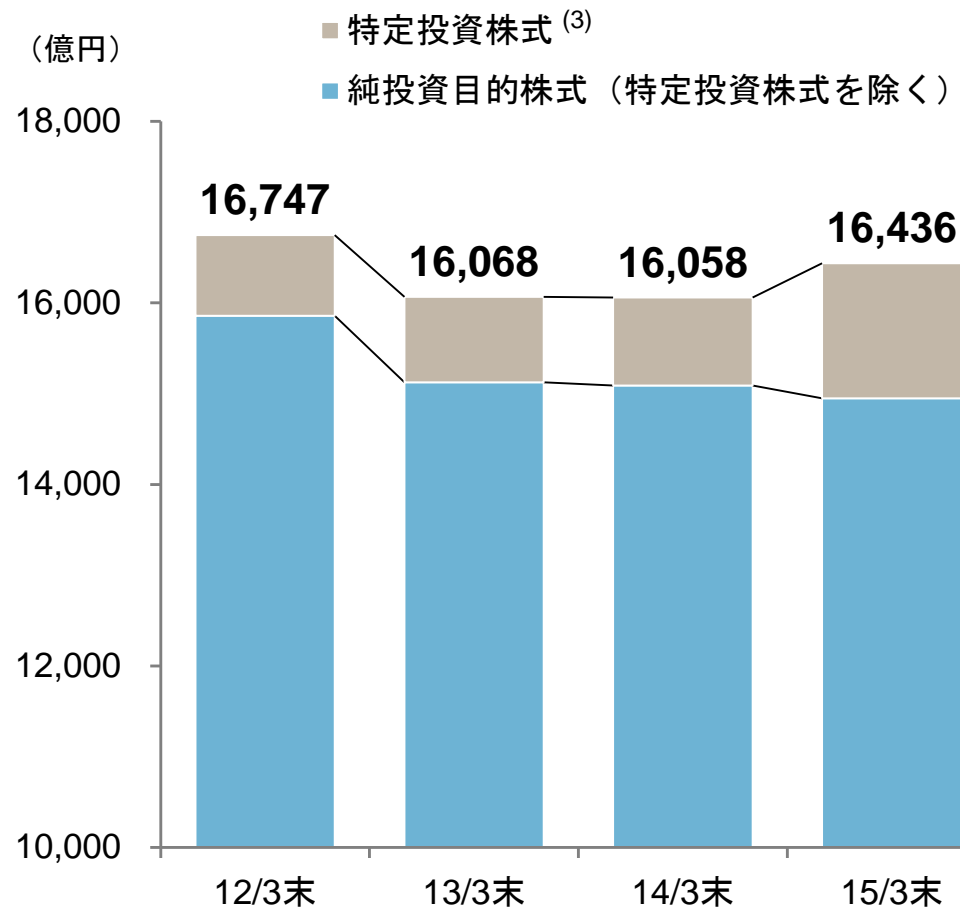
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

(2) 各期間における新契約価値を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

## 資産の構成 (一般勘定) (1)

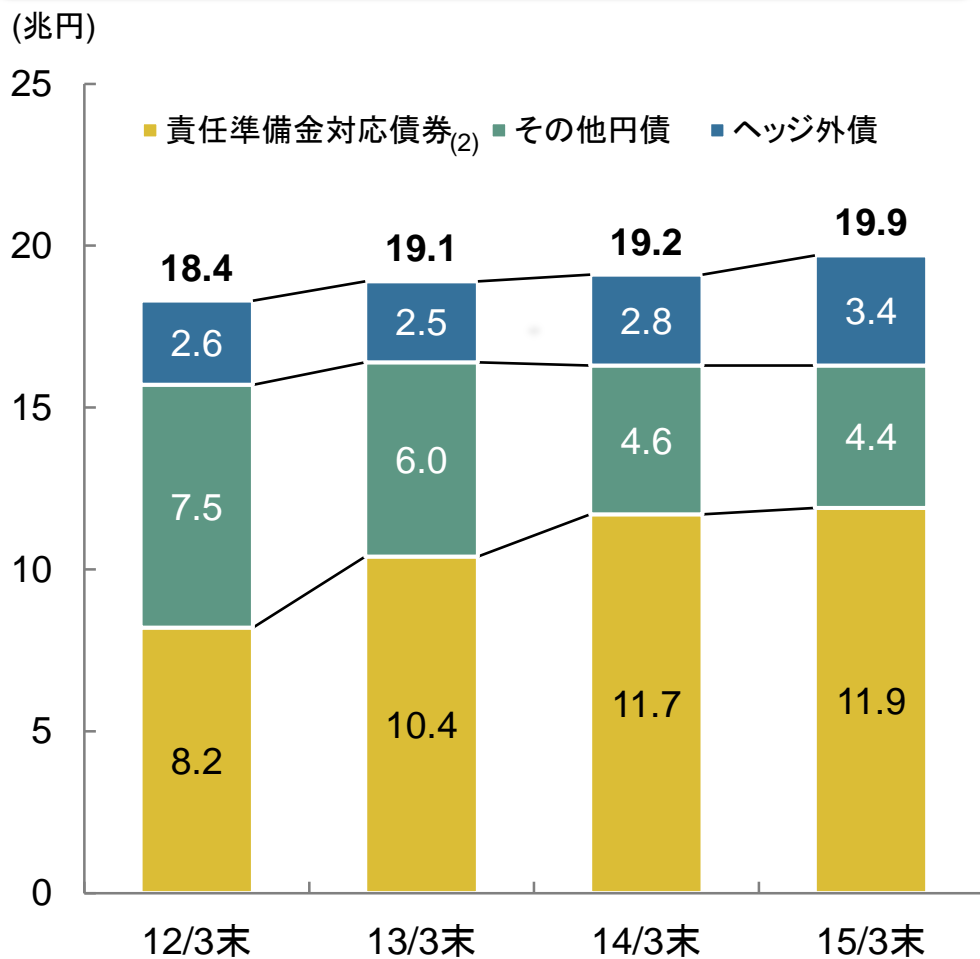


## 国内株式の簿価 (2)

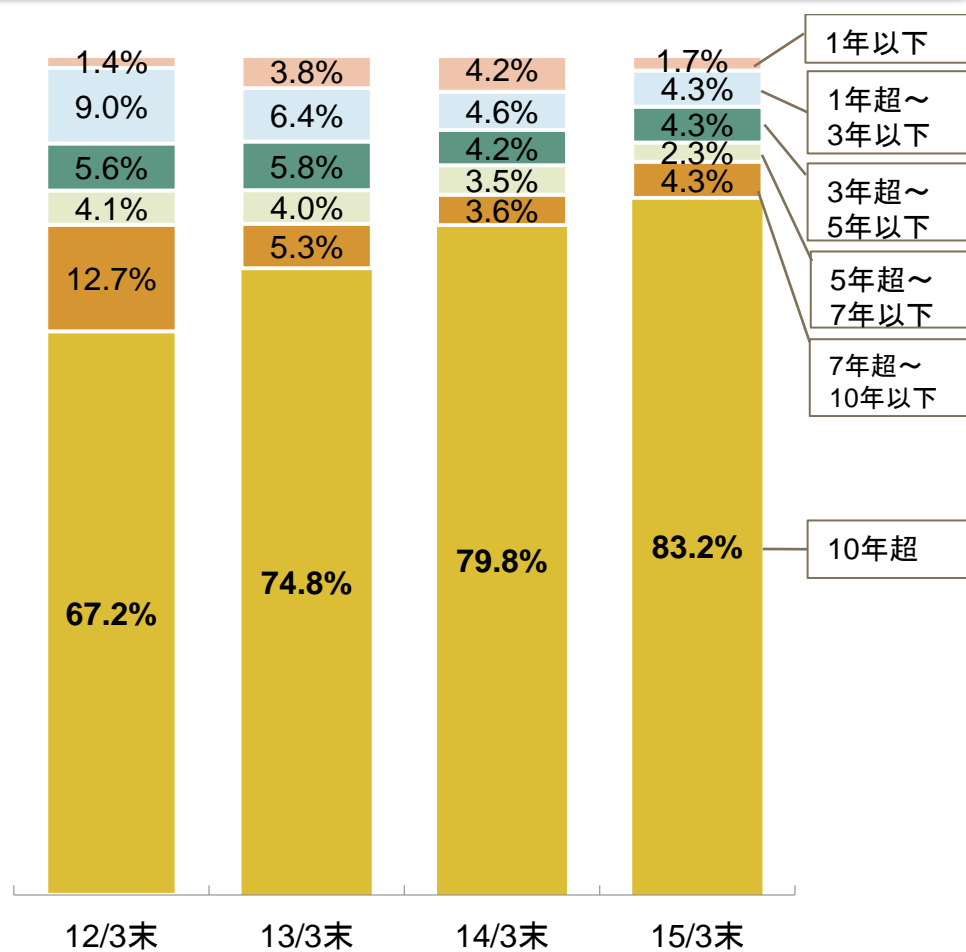


(1) 貸借対照表価額ベース  
 (2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。  
 (3) 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

## 債券の積み増し状況 (1)



## 国内債券の残存期間 (3)



(1) 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象とする。簿価ベース

(2) 責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められている。

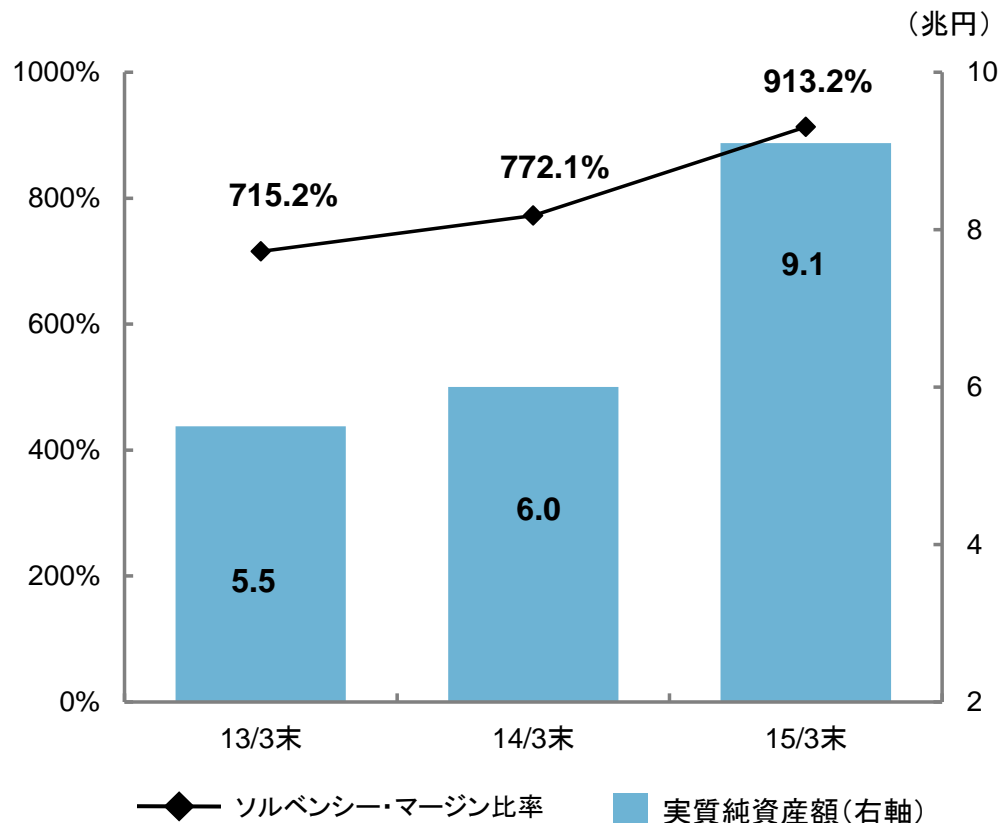
(3) 一般勘定資産のうち国内債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

## 含み損益(一般勘定)

(億円)

	14/3末	15/3末	増減
有価証券	30,056	54,917	+24,860
国内債券	13,813	22,368	+8,555
国内株式	9,318	17,856	+8,538
外国証券	6,422	14,008	+7,586
不動産	482	755	+273
その他共計	30,505	55,507	+25,001

## ソルベンシー・マージン比率 および実質純資産額

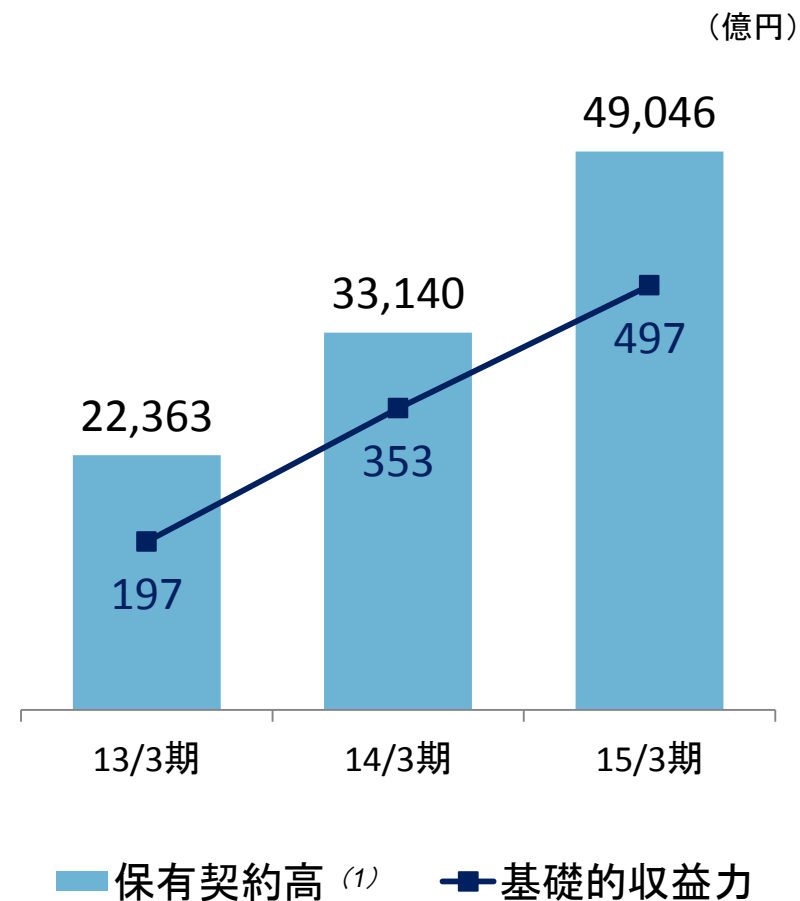


＜参考＞ 連結ソルベンシー・マージン比率：  
2015年3月末 818.2%

## 収支の状況

	(億円)	
	14/3期	15/3期
経常収益	14,178	21,575
うち 保険料等収入	12,660	18,997
うち 変額商品	2,883	1,979
うち 円建定額商品	3,663	2,813
うち 外貨建定額商品	4,910	12,362
うち 資産運用収益	1,518	2,577
うち 最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	-	-
経常費用	14,337	21,773
うち 責任準備金等繰入額	10,183	15,232
うち 最低保証リスクに係る責任準備金繰入額(△は戻入)(B)	76	24
うち 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額(△は戻入)(C)	△ 9	468
うち 危険準備金繰入額(D)	148	130
うち 資産運用費用	358	520
うち 最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	306	92
経常利益(△は損失)	△ 158	△ 197
純利益(△は損失)	△ 169	△ 219
(参考) 基礎的収益力 純利益 - (A) + (B) + (C) + (D) + (E)	353	497

## 保有契約高と基礎的収益力



(1) 保有契約高は各期間の末日時点

## 主要業績

(百万豪ドル)

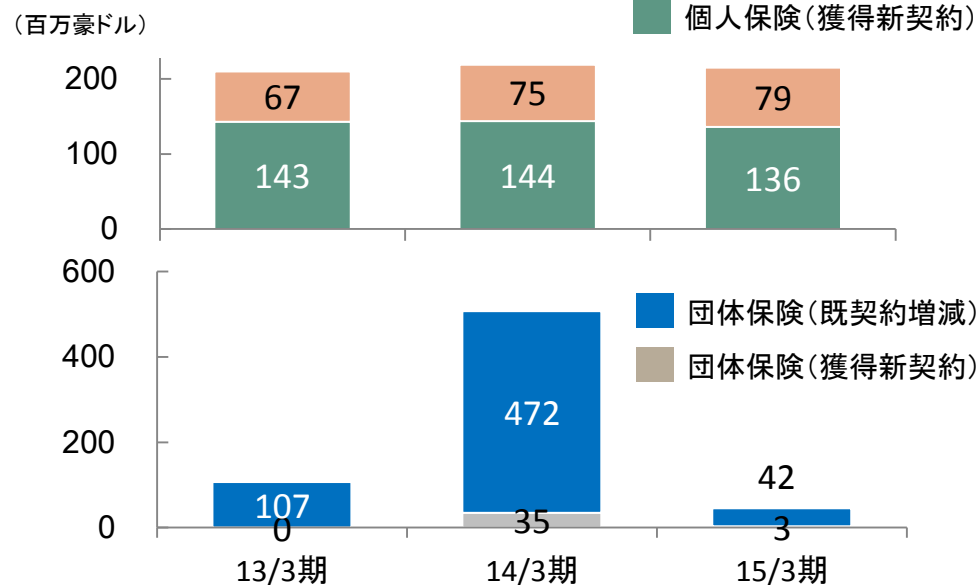
	14/3期	15/3期	前年比
経常収益 (2)	2,849	3,166	+11%
うち保険料等収入 (2)	2,316	2,745	+19%
経常利益 (2)	139	184	+32%
純利益(A) (2)	90	131	+45%
修正額(B)	40	15	
うち負債割引率の変化	5	△ 25	
うち償却負担	20	21	
その他	14	18	
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)	130	146	+12%

### <参考>

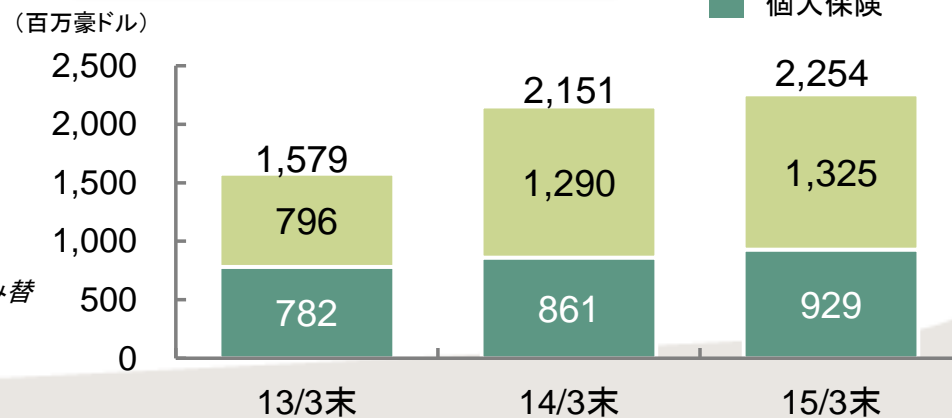
	14/3末	15/3末
為替レート(豪ドル)	95.19円	92.06円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値  
 (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

## 新契約年換算保険料



## 保有契約年換算保険料





- 経常収益は、国内事業における一時払商品販売等、保守的な前提により減益予想
- 当期純利益は、成長分野の連結利益への貢献により増益予想。1株当たり配当金も増配を予想。

(億円)

	15/3期	16/3期(予)	増減
<b>経常収益</b>	<b>72,522</b>	<b>67,730</b>	<b>△ 4,792</b>
第一生命単体	47,984	41,240	△ 6,744
第一フロンティア	21,575	12,460	△ 9,115
プロテクティブ(百万米ドル)	-	8,890	+ 8,890
TAL(百万豪ドル)	3,166	3,440	+ 273
<b>経常利益</b>	<b>4,068</b>	<b>3,690</b>	<b>△ 378</b>
第一生命単体	4,087	3,010	△ 1,077
第一フロンティア	△ 197	140	+ 337
プロテクティブ(百万米ドル)	-	340	+ 340
TAL(百万豪ドル)	184	150	△ 34
<b>当期純利益</b>	<b>1,424</b>	<b>1,610</b>	<b>+ 185</b>
第一生命単体	1,521	1,190	△ 331
第一フロンティア	△ 219	110	+ 329
プロテクティブ(百万米ドル)	-	230	+ 230
TAL(百万豪ドル)	131	100	△ 31
<b>1株当たり配当金</b>	<b>28円</b>	<b>35円</b>	<b>+7円</b>

(参考:基礎利益)

第一生命グループ	4,720	5,100程度	+379
第一生命単体	4,582	4,200程度	△ 382

- 好調な保険販売や良好な金融環境を背景に、グループ各社ともにEEVが増加
- グループEEVに米プロテクティブ社のEEVを算入

## 第一生命グループのEEV

(億円)

	14/3末	15/3末	増減
EEV	42,947	57,796	+14,849
修正純資産	34,313	55,408	+21,094
保有契約価値	8,633	2,388	△6,245

	14/3期	15/3期	増減
新契約価値	2,554	2,740	+186

## 第一生命(単体)

(億円)

	14/3末	15/3末	増減
EEV	42,685	57,008	+14,322
修正純資産	35,209	57,918	+22,709
保有契約価値	7,476	△910	△8,387

	14/3期	15/3期	増減
新契約価値	2,169	1,981	△187

## 第一フロンティア生命

(億円)

	14/3末	15/3末	増減
EEV	1,638	2,527	+889
修正純資産	1,344	1,882	+537
保有契約価値	293	645	+352

	14/3期	15/3期	増減
新契約価値	223	586	+362

TAL (億円)

	14/3末	15/3末	増減
EEV	1,863	2,378	+514
修正純資産	999	1,237	+237
保有契約価値	863	1,141	+277

	14/3期	15/3期	増減
新契約価値	184	173	△10

TAL (豪ドルベース) (百万豪ドル)

	14/3末	15/3末	増減
EEV	1,957	2,583	+625
修正純資産	1,050	1,344	+293
保有契約価値	907	1,239	+332

	14/3期	15/3期	増減
新契約価値	193	188	△5

14/3末EEV・14/3期の新契約価値: 14/3末の為替レート(1豪ドル=95.19円)を使用

15/3末EEV・15/3期の新契約価値: 15/3末の為替レート(1豪ドル=92.06円)を使用

プロテクティブ (億円)

	14/3末	15/2/1	増減
EEV	-	5,029	-
修正純資産	-	3,517	-
保有契約価値	-	1,512	-

プロテクティブ (米ドルベース) (百万米ドル)

	14/3末	15/2/1	増減
EEV	-	4,253	-
修正純資産	-	2,974	-
保有契約価値	-	1,278	-

15/2/1 EV: 15/1末の為替レート(1米ドル=118.25円)を使用

# 参考データ

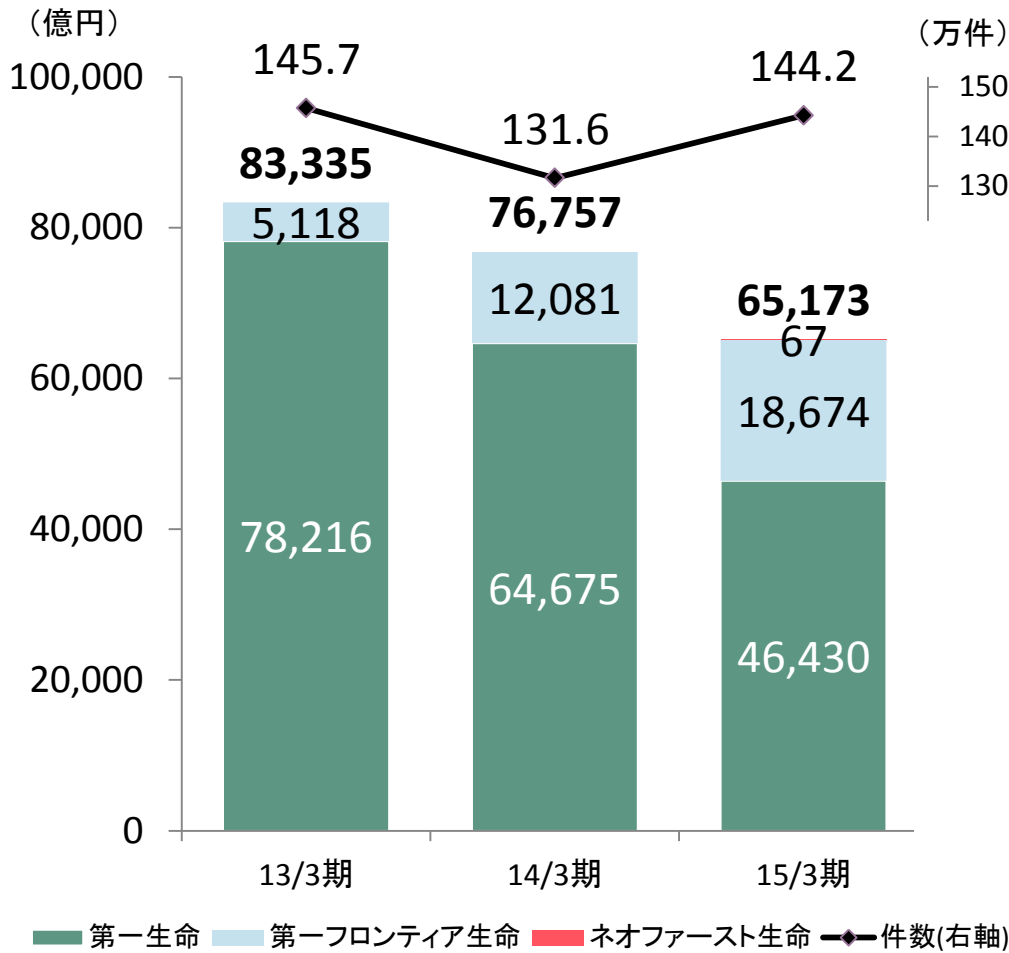
項目		経営目標
企業価値	EV成長率 (RoEV)	<u>8%を超える</u> 平均的成長
	連結修正純利益※2	2017年度 <u>2,200億円</u>
トップライン (成長性)	グループ 保有契約年換算保険料	2017年度末実績 <u>9%成長</u> (対2014年度末)
資本水準	資本充足率(経済価値)※3	2017年度末までに <u>170%~200%</u>
株主還元	連結修正純利益に対する 総還元性向	D-Ambitious 期間中に <u>40%</u>

※1 上記経営目標水準は、経済環境の前提が設定時の水準から大きく乖離することなく推移すると仮定しています。

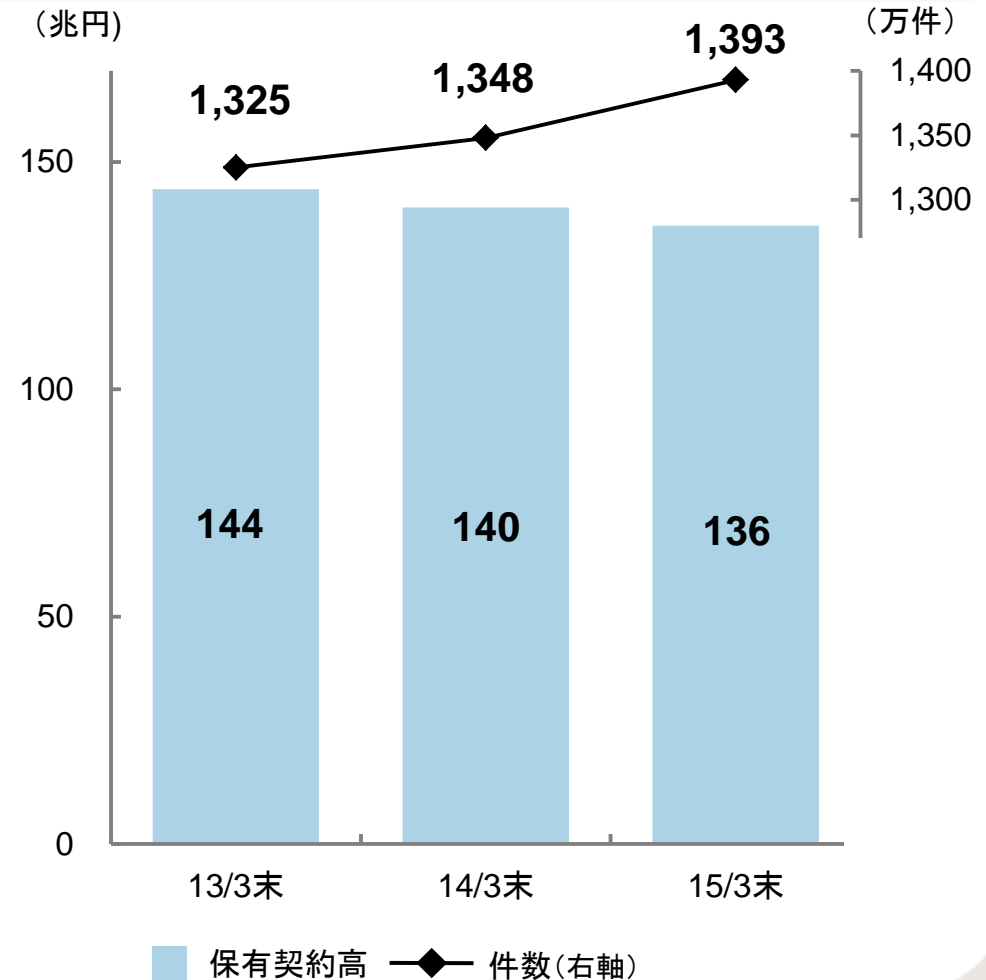
※2 連結修正純利益とは、実質的な収益力を示す指標であり、連結当期純利益に負債性内部留保(危険準備金、価格変動準備金)繰入額のうち、法定繰入額を超過して繰り入れた額(税引後)を加算する等して算出しています。

※3 資本充足率(経済価値)とは健全性を示す指標で、経済価値ベースで算出した資本を内部モデルで計算したリスク量(信頼水準99.5%、税引後ベース)で割って算出しています。

## 新契約高 (1)

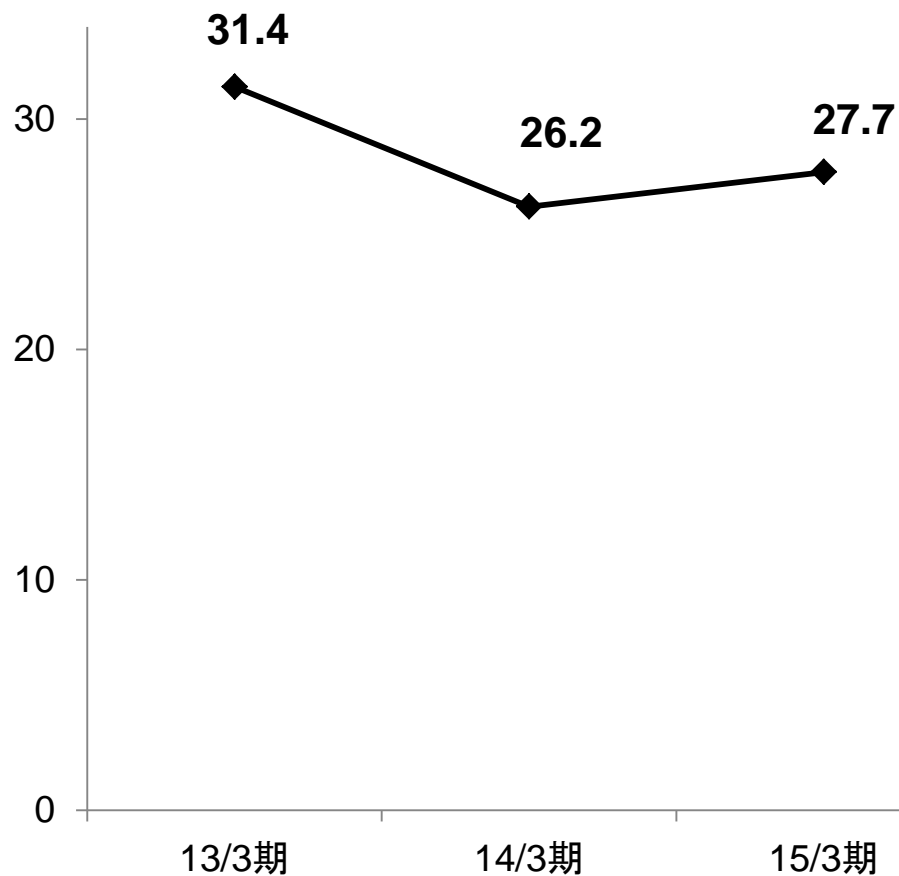


## 保有契約高 (1)

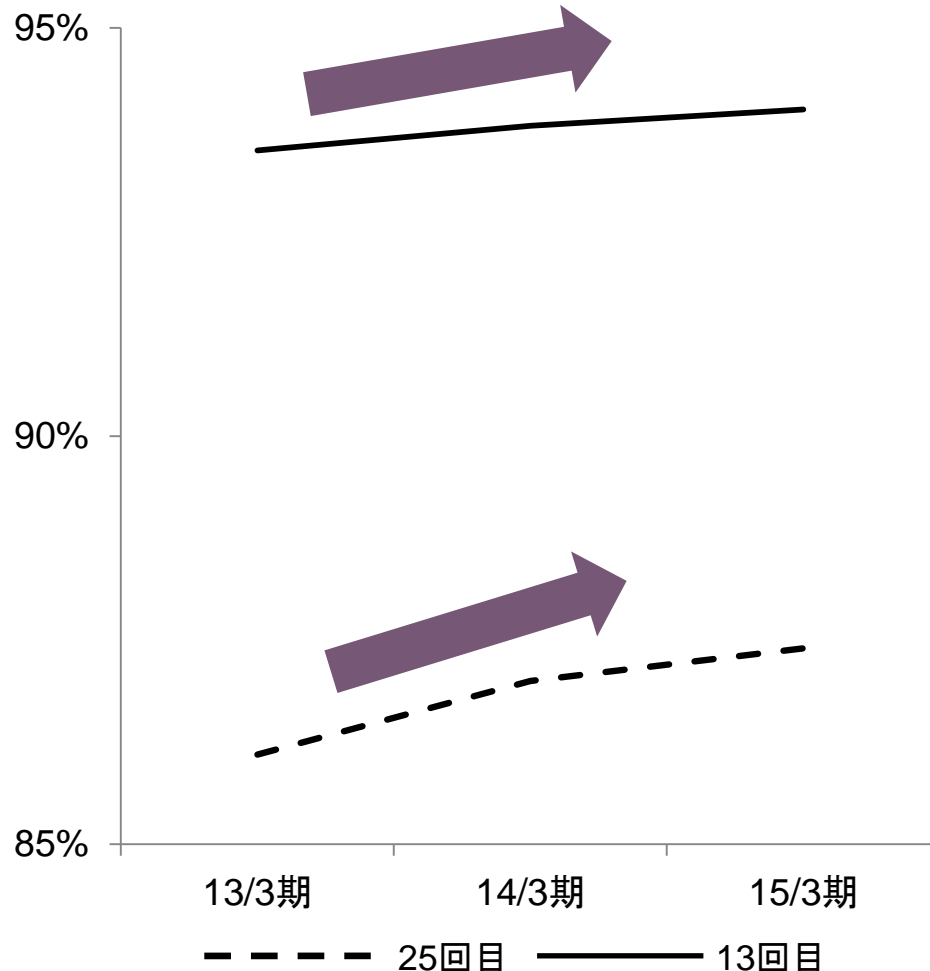


(1) 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の合算ベース。ネオファースト生命の新契約高は、15/3期2-4Q(7-3月)のみを記載し、保有契約高は15/3末のみを記載しています。  
 (2) 契約高とは、生命保険会社が保障する金額の総合計額です。当社が成長分野の一つとして取組む医療・介護等の第三分野商品は、死亡保障を主とする従来の第一分野商品と比べ、契約高が一般的に低くなります。

## 営業職員一人当たり新契約件数 (1)(2)



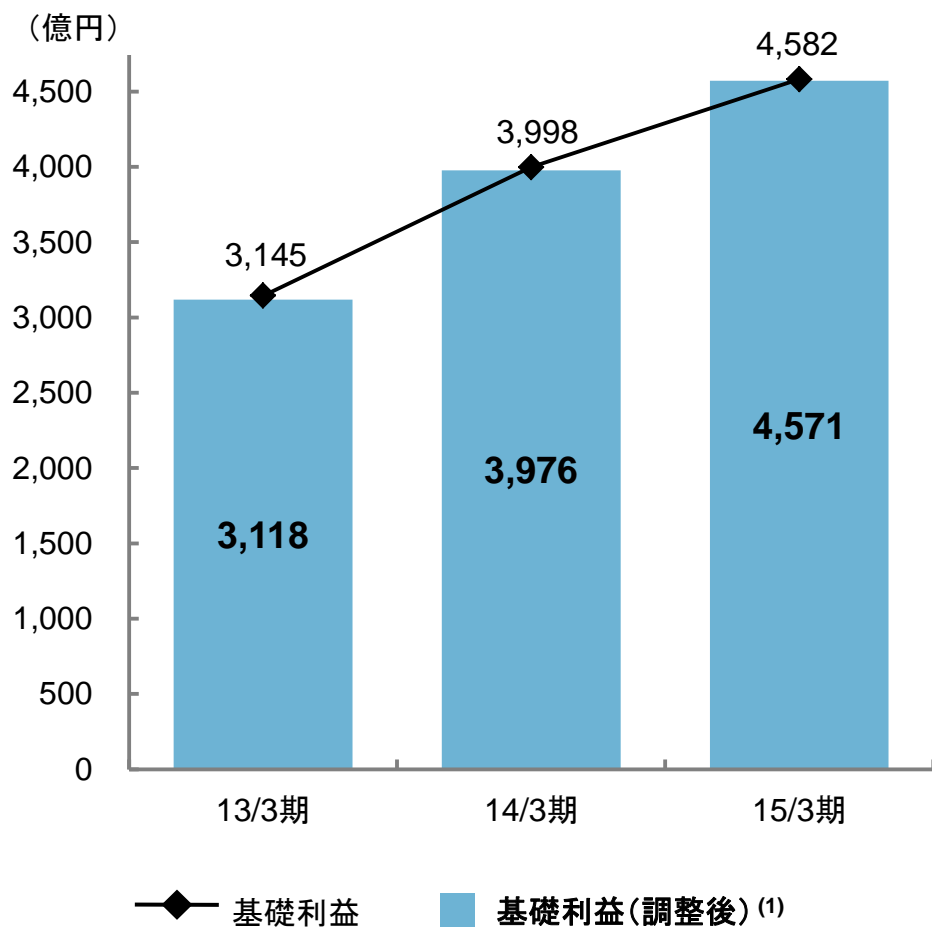
## 継続率



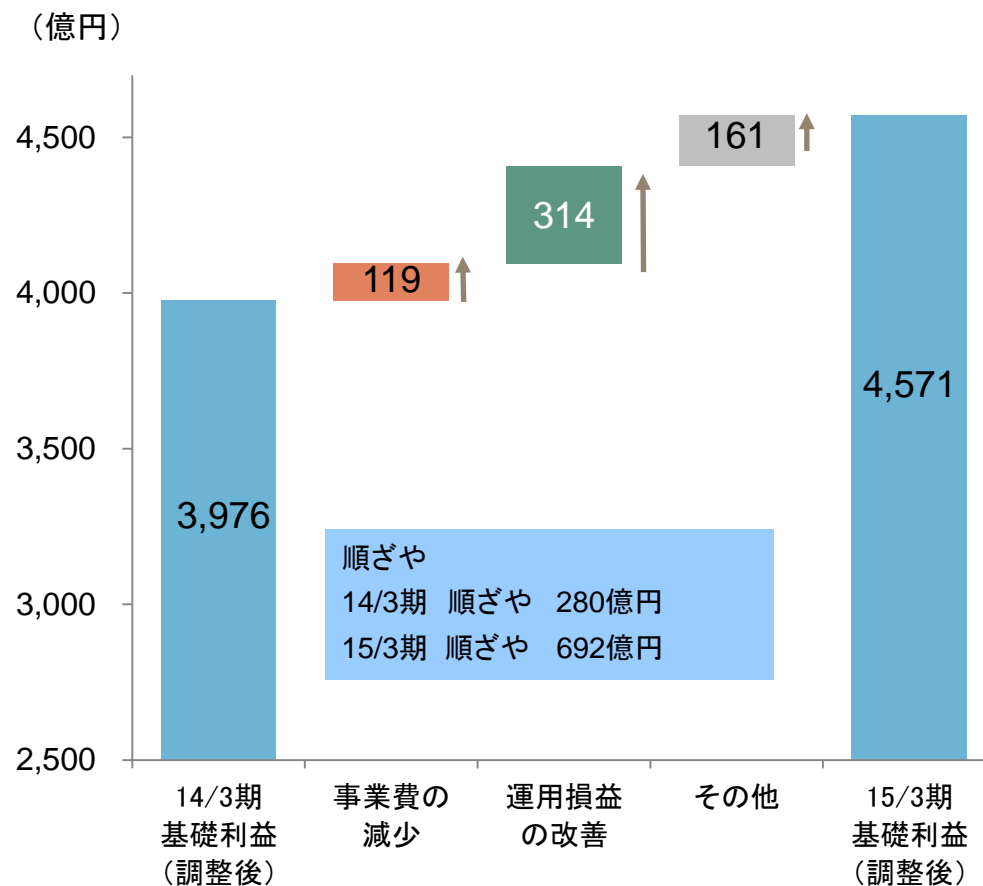
(1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結かつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

(2) 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

## 基礎利益



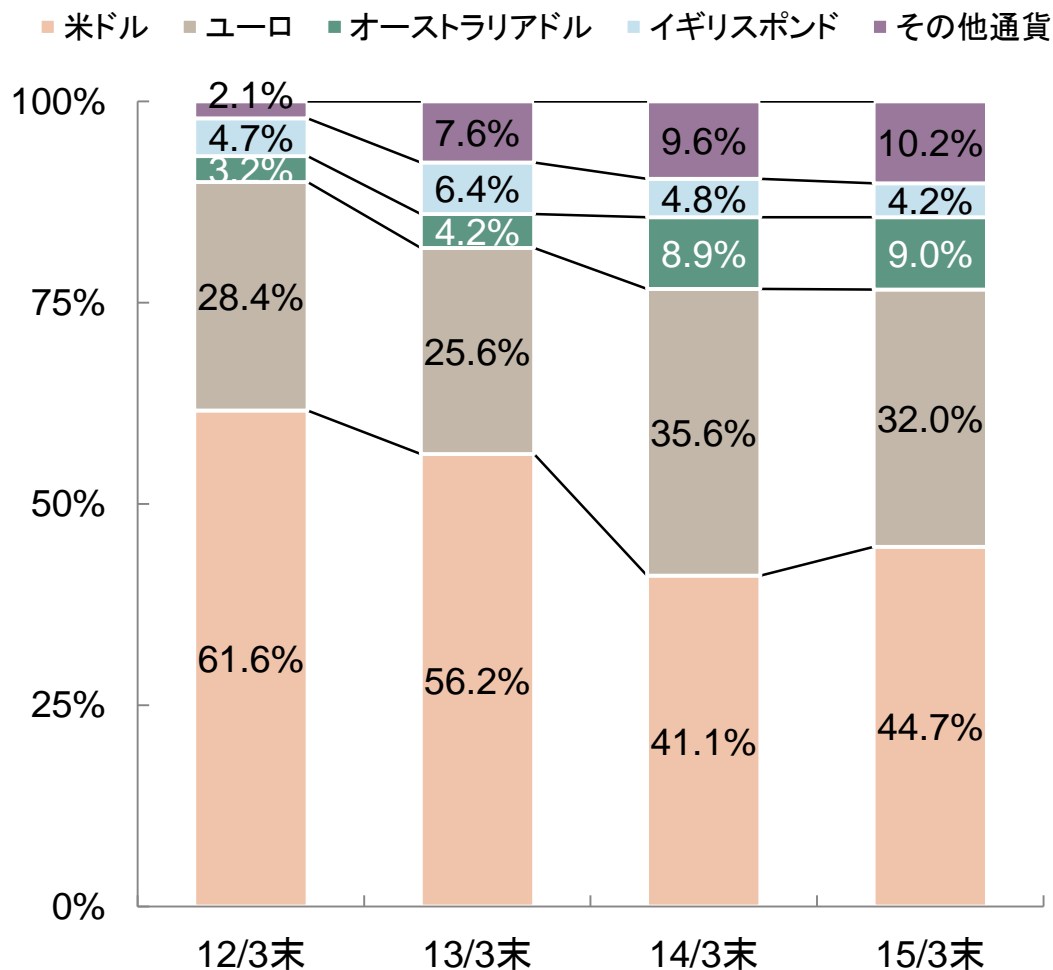
## 基礎利益(調整後)の変動要因 (1)



(1) 基礎利益(調整後) = 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額



外貨建債券の通貨別構成 (1)



(1) 一般勘定資産のうち外貨建債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

## 損益計算書<sup>(1)</sup>

	(億円)		
	14/3期	15/3期	増減
経常収益	43,846	47,984	+4,137
保険料等収入	28,680	32,663	+3,982
資産運用収益	11,614	11,744	+129
うち利息・配当金等収入	7,752	8,023	+271
うち有価証券売却益	2,023	1,465	△558
うち金融派生商品収益	-	94	+94
うち特別勘定資産運用益	1,490	1,832	+342
その他経常収益	3,551	3,576	+24
経常費用	40,770	43,897	+3,126
うち保険金等支払金	24,391	27,181	+2,790
うち責任準備金等繰入額	5,833	7,028	+1,195
うち資産運用費用	2,139	1,312	△826
うち有価証券売却損	673	244	△428
うち有価証券評価損	14	4	△9
うち金融派生商品費用	491	-	△491
うち事業費	4,105	3,985	△119
経常利益	3,076	4,087	+1,011
特別利益	36	30	△5
特別損失	664	272	△391
契約者配当準備金繰入額	940	1,122	+182
税引前純利益	1,508	2,723	+1,215
法人税等合計	652	1,201	+548
純利益	855	1,521	+666

## 貸借対照表

	(億円)		
	14/3末	15/3末	増減
資産の部合計	340,288	368,287	+27,999
うち現預金・コール	9,084	10,187	+1,102
うち買入金銭債権	2,758	2,597	△160
うち有価証券	280,051	306,733	+26,681
うち貸付金	30,231	30,292	+61
うち有形固定資産	12,155	12,032	△122
うち繰延税金資産	111	-	△111
負債の部合計	320,569	332,774	+12,204
うち保険契約準備金	297,440	304,496	+7,056
うち責任準備金	291,992	298,409	+6,417
うち危険準備金	5,310	5,580	+270
うち退職給付引当金	4,071	3,894	△176
うち価格変動準備金	1,164	1,324	+160
うち繰延税金負債	-	4,138	+4,138
純資産の部合計	19,718	35,513	+15,794
うち株主資本合計	6,962	11,073	+4,111
うち評価・換算差額等合計	12,749	24,432	+11,682
うちその他有価証券評価差額金	13,158	24,886	+11,727
うち土地再評価差額金	△383	△334	+48

(1) 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、経常利益に影響するものではありません

損益計算書

(億円)

	14/3期	15/3期	増減
経常収益	14,178	21,575	+7,397
うち保険料等収入	12,660	18,997	+6,337
うち資産運用収益	1,518	2,577	+1,059
経常費用	14,337	21,773	+7,436
うち保険金等支払金	3,238	4,962	+1,723
うち責任準備金等繰入額	10,183	15,232	+5,048
うち資産運用費用	358	520	+162
うち事業費	507	952	+445
経常利益(△は損失)	△158	△197	△38
特別損益	△9	△21	△11
税引前純利益(△は損失)	△168	△219	△50
法人税等合計	0	0	△0
純利益(△は損失)	△169	△219	△50

貸借対照表

(億円)

	14/3末	15/3末	増減
資産の部合計	33,924	49,372	+15,448
うち現預金・コール	780	813	+32
うち有価証券	32,206	47,154	+14,947
負債の部合計	33,440	48,798	+15,357
うち保険契約準備金	32,883	48,116	+15,232
うち責任準備金	32,858	48,070	+15,212
うち危険準備金	1,072	1,203	+130
純資産の部合計	483	574	+90
うち株主資本合計	403	184	△219
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△1,446	△1,665	△219

損益計算書<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

	14/3期	15/3期	増減
経常収益	2,849	3,166	+317
保険料等収入	2,316	2,745	+428
資産運用収益	280	334	+54
その他経常収益	252	86	△165
経常費用	2,710	2,982	+272
保険金等支払金	1,564	1,808	+243
責任準備金等繰入額	503	447	△56
資産運用費用	32	38	+6
事業費	519	579	+59
その他経常費用	90	109	+18
経常利益	139	184	+44
法人税等	48	52	+3
純利益	90	131	+40
修正利益 (Underlying profit)	130	146	+15

貸借対照表<sup>(1)(2)</sup>

(百万豪ドル)

	14/3末	15/3末	増減
資産の部合計	6,086	6,674	+588
現預金	676	924	+248
有価証券	2,852	3,070	+218
有形固定資産	0	1	+0
無形固定資産	1,271	1,235	△35
のれん	791	786	△4
その他無形固定資産	480	449	△30
再保険貸	72	116	+44
その他資産	1,213	1,326	+112
負債の部合計	4,184	4,641	+456
保険契約準備金	2,960	3,340	+379
再保険借	385	335	△50
その他負債	721	859	+138
繰延税金負債	117	106	△11
純資産の部合計	1,901	2,033	+131
株主資本合計	1,901	2,033	+131
資本金	1,630	1,630	-
利益剰余金	270	402	+131

(1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

(2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

	感応度 <sup>(1)</sup>	含み損益ゼロ水準 <sup>(2)</sup>
国内株式	<p>日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2014年3月末:1,700億円)</p>	<p>日経平均株価 ¥8,900 (2014年3月末:¥9,200)</p>
国内債券	<p>10年国債利回り 10bpの変動で 2,600億円の増減※ (2014年3月末:2,400億円)</p> <p>※その他有価証券区分:300億円の増減 (2014年3月末:300億円)</p>	<p>10年国債利回り 1.2%※ (2014年3月末:1.2%)</p> <p>※その他有価証券区分:1.4% (2014年3月末:1.4%)</p>
外国証券	<p>ドル/円 1円の変動で 310億円の増減 (2014年3月末:280億円)</p>	<p>ドル/円 \$1 = ¥100 (2014年3月末:¥89)</p>

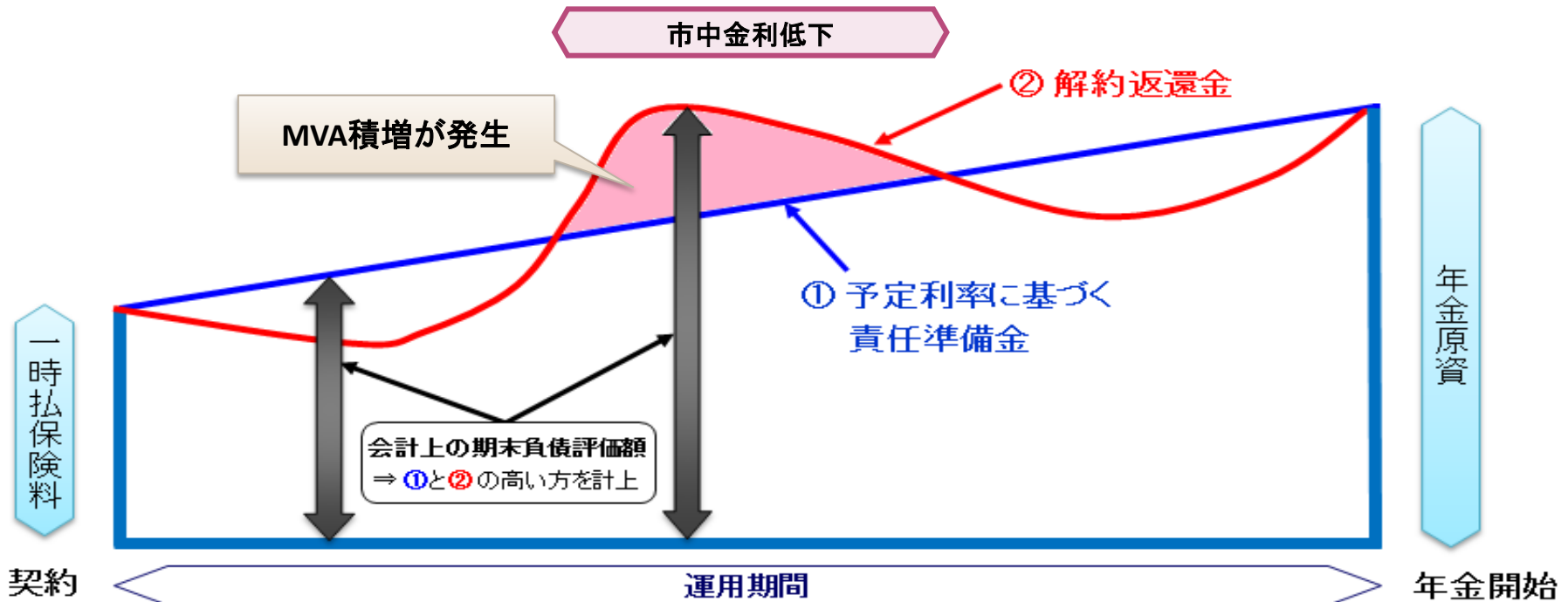
(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

# 第一フロンティア生命の保険商品に係る市場価格調整について

- 第一フロンティア生命(DFL)の保険商品には、解約時に市中金利変動に伴う運用資産の価値変動を解約返還金額に反映させる「市場価格調整(MVA)」を設定するものがある
- MVA付き商品の会計上の負債は、「解約返還金」と「予定利率により定められた責任準備金」の大きい方を計上する
  - 負債側で、金利低下により「解約返還金」が「責任準備金」を上回る場合、責任準備金の積増しが発生。
- 資産側の債券価格の上昇分(含み益)は損益計算書に反映されないため、会計上は収支が悪化
  - あくまで会計上の一時的な評価の変動。解約時に債券が売却され、含みが実現されるので、実質的な損失ではない。また金利が上昇に転じれば積み増し分は取り崩す。

## 【イメージ図(MVA付個人年金の例)】



本資料の問い合わせ先  
第一生命保険株式会社  
経営企画部 IR室  
電話:050-3780-6930

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。